

主管課	下水道課	会計名
		下水道特別会計

事業の主な内容及び成果

○決算額の構成

【歳入】

款	29年度		28年度		比較増減額	増減率
	決算額	構成比	決算額	構成比		
	円	%	円	%	円	%
分担金及び負担金	16,550,560	0.6	14,124,170	0.5	2,426,390	17.2
使用料及び手数料	884,933,773	31.8	879,116,935	33.2	5,816,838	0.7
国庫支出金	375,210,000	13.5	417,640,000	15.8	△ 42,430,000	△ 10.2
財産収入	120,872	0.0	226,651	0.0	△ 105,779	△ 46.7
繰入金	673,250,098	24.2	570,915,080	21.6	102,335,018	17.9
繰越金	117,413,798	4.2	96,432,655	3.6	20,981,143	21.8
諸収入	109,771,203	4.0	104,832,229	4.0	4,938,974	4.7
市債	601,800,000	21.7	564,800,000	21.3	37,000,000	6.6
合計	2,779,050,304	100.0	2,648,087,720	100.0	130,962,584	4.9

【歳出】

款	29年度		28年度		比較増減額	増減率
	決算額	構成比	決算額	構成比		
	円	%	円	%	円	%
事業費	1,899,209,586	71.3	1,772,123,089	70.0	127,086,497	7.2
基金積立金	120,872	0.0	226,651	0.0	△ 105,779	△ 46.7
公債費	764,827,684	28.7	758,324,182	30.0	6,503,502	0.9
合計	2,664,158,142	100.0	2,530,673,922	100.0	133,484,220	5.3

○借入先別地方債現在高

借入先	29年度末現在高
	円
財務省(財政融資資金)	6,085,182,053
郵便貯金・簡易生命保険管理機構	469,219,432
地方公共団体金融機構	3,054,049,742
埼玉りそな銀行	2,400,000
武蔵野銀行	100,719,088
合計	9,711,570,315

事業の主な内容及び成果

○公共下水道整備状況

＜飯能処理区＞

各年度 3月31日現在

	総人口(A)	処理面積	処理人口(B)	普及率(B)/(A)	水洗化人口
	人	ha	人	%	人
29年度	79,126	1,026.6	54,649	69.1	52,025
28年度	79,383	1,007.1	53,842	67.8	51,545
27年度	79,533	999.9	53,081	66.7	50,821

※総人口とは、住民基本台帳人口を基にした処理区内の人口である。

※処理人口とは、公共下水道の整備済区域内に住んでいる人口である。

※水洗化人口とは、公共下水道を使用している人口である。

○下水道事業受益者負担金の収納状況

＜飯能処理区＞

区 分		調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収納率
		円	円	円	円	%
下水道事業 受益者負担金	現年度分	16,589,530	16,499,960	0	89,570	99.5
	滞納繰越分	230,490	50,600	39,410	140,480	22.0
合 計		16,820,020	16,550,560	39,410	230,050	98.4

○下水道使用料の収納状況

＜飯能処理区＞

区 分		調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収納率
		円	円	円	円	%
下水道使用料	現年度分	885,191,527	877,501,012	0	7,690,515	99.1
	滞納繰越分	9,664,710	7,102,723	469,031	2,092,956	73.5
合 計		894,856,237	884,603,735	469,031	9,783,471	98.9

○下水道事業審議会の開催

・下水道事業審議会を1回開催した。

○管きょ施設の維持管理

・中継ポンプ場3か所、マンホールポンプ場48か所、雨水吐1か所の運転にかかる点検・清掃・修繕等の維持管理を行い、安全で快適な生活環境の確保を図った。

○公共下水道事業計画の変更

・埼玉県との協議を重ねて、平成30年2月21日、事業計画を変更した。変更概要は、改正下水道法で規定された様式1～3の追加、事業計画期間の延伸(最終年度を平成35年度に変更)である。

事業の主な内容及び成果

○公共下水道管きよ整備

・公共下水道の早期普及を図るため積極的に幹線、枝線の整備を行った。民間開発等の管きよ整備を含めると処理区域は19.5ha増加し1,026.6haとなった。処理人口は807人増加し54,649人となり、下水道普及率は、昨年度(平成28年度末)67.8%から1.3%増加し69.1%となった。

事業名	地区名	工事内容		工事費 円
		(径) mm	(延長) m	
管きよ布設工事	各地内	200～450	3,099.28	380,613,600
第1工区(双南)	双柳地内	200	189.92	11,997,720
第2工区(双南)	双柳地内	200	18.00	1,197,720
第3工区(双南)	新光地内	300 250	17.94 588.17	44,654,760
第1工区(笠縫)	笠縫地内	200	88.29	6,048,000
第2工区(笠縫)	川寺地内	200	32.02	1,728,000
第3工区(笠縫)	笠縫地内	200	45.12	2,181,600
第4工区(笠縫)	笠縫地内	200	125.00	5,940,000
第1工区(岩北)	双柳・岩沢地内	200	209.77	42,396,480
第2工区(岩北)	岩沢地内	200	101.01	5,836,320
第1工区(岩南)	岩沢地内	200	310.36	36,720,000
第2工区(岩南)	岩沢地内	200	197.61	9,612,000
第4工区(岩南)	岩沢地内	200	265.58	29,052,000
第5工区(岩南)	岩沢地内	200	48.02	2,322,000
第6工区(岩南)	岩沢地内	200	93.10	9,666,000
公共第1工区(双北)	双柳地内	200	271.55	25,310,880
公共第1工区(岩北)	岩沢地内	250 200	41.25 103.00	47,890,440
公共第2工区(岩南)	岩沢地内	200	76.53	9,931,680
笠縫污水幹線第1工区	岩沢地内	450 200	99.18 18.80	59,184,000
岩沢第二污水幹線第1工区	新光地内	350	159.06	28,944,000
管きよ工事	各地内	—	—	61,459,560
第1工区(阿須・岩沢地内)	阿須・岩沢地内	250	1式	9,943,560
第1工区(阿須地内)	阿須地内	150	1式	8,532,000
南幹線管きよ更生工事	南町地内	1,090×1,370	61.30	42,984,000
取付管布設工事ほか	各地内	—	—	696,600

繰越明許費分

事業名	地区名	工事内容		工事費
		(径) mm	(延長) m	
岩沢第二污水幹線第18工区(岩北)	岩沢地内	450	156.60	平成28年度 32,940,000円 平成29年度 49,529,880円 計 82,469,880円
岩沢第二污水幹線第19工区(双南)	新光・双柳地内	400	274.83	平成28年度 16,308,000円 平成29年度 24,624,000円 計 40,932,000円
公共第20工区(岩北)	双柳・岩沢地内	200	559.70	平成28年度 49,248,000円 平成29年度 75,506,040円 計 124,754,040円

事業の主な内容及び成果

○飯能市阿須污水中継ポンプ場の完成

- ・平成27年度から平成29年度まで3か年の継続事業で建設を進めてきた飯能市阿須污水中継ポンプ場が完成した。
- ・RC造 地上1階、地下1階 延床面積335.31㎡
- ・ポンプ能力 時間最大10.2㎡ 台数4台(3台+1台予備)

阿須污水中継ポンプ場建設事業

事業名	地区名	工事内容		工事費 *総額
		規模	数量	
飯能市阿須污水中継ポンプ場 水処理設備工事(H28・H29)	阿須地内	主ポンプ設備 粗目スクリーン 破砕機	4台 2面 2台	109,080,000円 *181,764,000円
飯能市阿須污水中継ポンプ場 電気設備工事(H28・H29)	阿須地内	受変電設備 運転操作設備 計装設備	1式 1式 1式	116,640,000円 *194,292,000円
飯能市阿須污水中継ポンプ場 建設工事その3	阿須地内	場内舗装工 側溝工 フェンス工	783㎡ 1式 1式	60,998,400円
飯能市阿須污水中継ポンプ場 建設工事その4	阿須地内	(径) mm (延長) m 250	16.40	7,711,200円

継続費逐次繰越分

事業名	地区名	工事内容		工事費
		規模	数量	
飯能市阿須污水中継ポンプ場 建設工事その2	阿須地内	(径) mm (延長) m 700	19.64	平成28年度 24,084,000円
		350	32.10	平成29年度 36,374,400円
		250	19.90	計 60,458,400円

事業の主な内容及び成果

○下水処理関係(飯能市浄化センター)

<流入下水量状況>

	流入下水量		
	m ³ /年	m ³ /月(平均)	m ³ /日(平均)
29年度	8,345,170	695,431	22,863
28年度	8,174,790	681,233	22,397
27年度	8,488,580	707,382	23,193

<水質状況>

	BOD		SS	
	流入下水	放流水	流入下水	放流水
基準値	mg/ℓ	mg/ℓ	mg/ℓ	mg/ℓ
	-	15.0以下	-	40.0以下
29年度	189	1.8	174	2.0
28年度	192	1.8	177	1.0
27年度	186	1.6	164	1.0

※基準値は、下水道法による。

※数値は、全検査の平均値である。

※BODとは、生物化学的酸素要求量である。

※SSとは、水に溶けない粒径2mm以下の浮遊物質量である。

<脱水ケーキ処分状況>

	発生量	農地還元量	委託処分量			
			肥料化	セメント化	ガス発電化	計
	t	t	t	t	t	t
29年度	1,905.70	35.00	732.73	784.43	353.54	1,870.70
28年度	1,585.30	143.30	565.71	530.45	345.84	1,442.00
27年度	1,462.86	92.45	222.24	807.25	340.92	1,370.41

※脱水ケーキとは、汚泥を脱水機にかけた後に残った固形の物質である。

※原市場浄化センター分含む。

○浄化センター等の包括的民間委託の実施

- ・平成21年度から、浄化センター、マンホールポンプ場等の運転管理のほか、各種施設の維持管理にかかる消耗品や燃料の購入、各種施設の保守点検等を包括的に行う民間委託を実施している。委託業務により、契約・伝票事務の削減など、事務の効率化を図った。

事業の主な内容及び成果

○浄化センター太陽光発電所の設置、稼働

- ・浄化センター用地に出力容量1,995kWの太陽光発電施設を設置し、平成27年10月1日から稼働、売電を開始した。

<売電実績>

	売電量	売電金額
	kWh	円
29年度	2,777,732	95,998,411

○危機対応訓練の実施

- ・危機時における下水道施設の機能維持を図るため、各種危機を想定した危機対策訓練を浄化センターの運転委託業者と連携して実施している。平成29年度は、有害物質等流入事故対応訓練を1回、地震対応訓練を1回の計2回実施した。